

## 2023年度 第2回災害支援委員会・次第

令和5年9月11日（月）19時30分～

参加者：9名（長坂・狩野・番場・中島・永尾・篠原・小淵・福永・高橋）

### 報告事項

- 8月18日実施の災害支援委員会研修について  
「BCPについて」 講師：群馬県障害政策課の横山さん。  
参加者：21名（会員外も参加）  
基本的な考え・どのように作成するか雛形のデーもいただいた。
  
- 日本協会関連  
・11/11 2023年度関東甲信越ブロック災害対策委員連絡会  
参集型（上野） ⇒ 長坂さん参加予定。
  
- DWAT 関連 7月以降の活動報告：長坂さん・篠原さん・高橋さん  
・6/26 全体検討会（長坂さん） 各団体の顔合わせ・自己紹介が中心。  
福祉避難所の検討会・準備会の資料を配付。  
市町村と社協が連携して、各地で訓練を行う予定。  
・8/21 第5期登録研修 県土会から1名推薦（桐の木クリニック・本多さん）。  
・「障害者支援研究会」「高齢者支援研究会」「女性・子供支援研究会」が秋に開催予定。
  
- 各事業の進捗について  
・ソーシャルワーカー3団体の災害支援交流会：番場さん・中島さん  
医療ソーシャルワーカー協会より問い合わせがあった。  
社会福祉士会とは連絡が取れていない。  
交流会として研修の開催を検討。オンラインか参集型かなど決まっていない。  
  
・MHSW 首都圏災害ネット研修：小淵さん  
8月に1回目の打ち合わせを行った。今年度も2月頃に研修を行う予定。  
開催方法（参集型かオンラインか）については今後検討。  
長野県の豪雨災害に群馬 DWAT から現地に出向いた経験を話してもらいたいという要望があった。今年度から首都圏ネットに加わる長野県の人にも講師として招く予定。  
災害支援委員会の中に長野県の災害支援の経験を話せる人は数人いるので OK
  
- ・士業団体による「被災者等相談支援に関する協定」について：番場さん  
何も連絡なく、動きがない。

## 検討事項

- 県士会会員へ向けた研修「備えなくては!! BCP」の振り返り
  - ・参加者は意外と少なかった。
  - ・話を聞いてみると、恐れることはない感じがして安心できた。
  - ・いただいた資料はダウンロードできるよう案内済み。
  - ・資料をもらえて助かった、という連絡が何件か来ている。
  
- LINE のオープンチャット活用状況等について
  - ・現在の登録者 16 名
  - ・有事で情報を集めるツールとして用意しているが、そのためにも登録者を増やしたい。登録者を増やすために、どういう目的で何をしているのかを案内していく必要がある。  
⇒チラシを作り、会員向けの郵送物に同封。  
定例会の度に告知していく。
  
- 首都圏ネットの研修について
  - 長野県での支援経験を話すのは篠原さんが適任。篠原さん快諾。
  - 費用の関係で、会場は東京ではなく千葉や神奈川になる可能性あり。
  - 11 月頃には次回の打ち合わせがある予定。
  - 日本協会の助成金申請を毎年群馬県で担ってきたが、今年度は茨城県が担当。
  
- ソーシャルワーカー3 団体の交流会について
  - 開催方法：オンラインの方が集まりやすい。  
グループワークをするにもブレイクルーム使用で問題ない。
- ※ ソーシャルワーカー3 団体連盟との位置づけはどうなっているのか。
  - ⇒今後は広報・災害・身元保証・ソーシャルワーカーデイについて連盟で動いていく。  
連盟の担当：広報（MHSW 会）・災害（社会福祉士会）・身元保証（MSW 協会）
  - ・現状、MHSW 会の災害支援委員会と、連盟がリンクしていない為に整理されてない。
  - ・3 団体連盟の災害部門から、県士会の災害支援委員会に話が降りる形にしていく。  
⇒連盟の中に部会（？）を作り、組織として検討していく仕組みについて提案。  
今回の交流会で MSW 協会・社会福祉士会と共通認識を持つ。
  - ・今年度の交流会では、平時の連携、連携の強化について意見交換して連盟の災害部会を機能させる方向にもっていく。
  - ・9/25 に 3 団体の会長・副会長による意見交換会があるので、林会長に今回の件を事前に番場さんから伝えておく。
  - ・MSW 協会の吉井さん、社会福祉士会の尾形さんに番場さんから今日話し合ったことを伝えて各団体の会長に伝えてもらう。吉井さん・尾形さんがどう動いてくれるか等の結果は、LINE で委員会で検討する予定。

2023 年度 第 3 回災害支援委員会 : 12 月 11 日 19:30~ Zoom